

(別紙2)

茨城県における米の放射性物質の検査について

1 実施方法

- 収穫前の予備調査と収穫後の玄米による本調査の2段階で実施。
- 予備調査は、空間放射線量率が $0.1\mu\text{Sv/h}$ を超える13市町村で実施し、本調査は全市町村で実施。
- 暫定規制値(500Bq/kg)以下の場合、出荷。500Bq/kgを超過した場合、旧市町村単位に出荷制限。
- 市町村全域で本調査が終了し、安全性が確認された時点で出荷開始。

2 調査の概要

(1) 予備調査

地域	該当市町村	調査点数	点数
空間放射線量率が平常時の範囲(※1)を超える市町村	13市町村 (北茨城市、大子町、高萩市、日立市、常陸太田市、東海村、ひたちなか市、茨城町、鉾田市、美浦村、牛久市、守谷市、取手市)	1市町村当たり 概ね3点	36点

※1 小数点以下第2位を四捨五入し $0.1\mu\text{Sv/h}$

(2) 本調査

区分	地域	調査点数	点数
①一般地域	ア 予備調査を行っていない市町村 イ 予備調査の結果、一定水準(200Bq/kg)以下であった市町村	旧市町村(※2)	359点
②重点調査地域	ア 予備調査の結果、200Bq/kgを超えた市町村 イ ①アの市町村で、本調査を行ったところ、200Bq/kgを超えた市町村	概ね15haにつき 1点	該当なし

※2 農林業センサスにおける市町村。(概ね200haにつき1点)

3 調査結果

- 13市町村で実施した予備調査では、200Bq/kgを超えたところはない。
- 44市町村で実施した本調査では、検出せず $\sim 85\text{Bq/kg}$ であり、すべての地点において暫定規制値(放射性セシウム500Bq/kg)を大幅に下回り、安全性を確認。調査結果を踏まえ、各市町村で出荷、販売等を開始。

	調査点数	調査時期	放射性セシウム(Bq/kg)
予備調査	13市町村 : 36	8月19日～9月14日	検出せず(35点)～52
本調査	44市町村 : 359	8月16日～9月22日	検出せず(356点)～85